

SELP Vision 2030 事例紹介

2022.10.25掲載

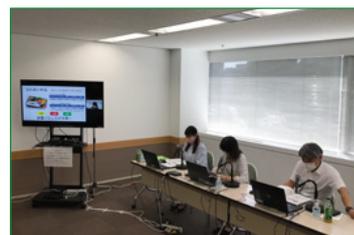
令和4年度 全国社会就労センター総合研究大会 分科会事例報告

SELP Vision 2030より、
主に実現したチャレンジ



本会では、会員が集い、情報交換する場として、毎年「全国社会就労センター総合研究大会」を開催しています。分科会Ⅰでは所属施設・事業所の事業種別ごとに、分科会Ⅱでは課題ごとに分かれ、参加者の関心に応じて情報交換を実施しています。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて、7月22日にオンラインで長野大会を実施しました。事例報告の様子を一部お届けします。



分科会Ⅰ③就労継続支援事業部会&生産活動・生活介護事業部会

「変えてみた!!～新しいチャレンジ～」

登壇者

(福)花工房福祉会 エコーンファミリー 就労支援員 熊井 貴一 氏

(福)正心会 ハピネス川西作業所 サービス管理責任者 許 武泰 氏

(福)福岡コロニー なのみ工芸 管理者 三苦 卓巳 氏

(福)タラブ i・box 施設長 松添 慎吾 氏

コロナ禍の状況において活動が制限される中、ピンチをチャンスに変えるため、さまざまな観点から「変えてみた!!」ことを4名の登壇者よりご報告いただきました。各施設・事業所からの事例共有を通じて、参加者が新たな「変えてみた!!」に取り組むきっかけになりました。

● (福)花工房福祉会の変えてみた!!

花工房福祉会(B型・生活介護等)では、コロナ禍で自主生産品であるパンやお菓子などの売上が減少したことにより、利用者工賃に影響が出ました。販売先が減少する一方で、地元農家や企業、住民との連携による施設外就労を増加させ、工賃確保に成功しました。また、新たな販売方法として、ECサイトの立ち上げや仕出し弁当の製造、応援基金(返礼品あり)の立ち上げに取り組みました。その結果、コロナ禍でも工賃向上を実現しています。

3. 施設外就労の可能性

- コロナの影響により販売先は減少。
- その代わりに作業が増えたのが、施設の外に出ての作業(施設外就労)だった。
- 地域の農家さんとの連携、農福連携により畑での作業が増えた。



● (福)正心会ハピネス川西作業所の変えてみた!!

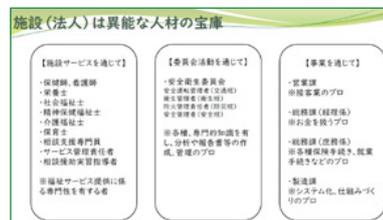
ハピネス川西作業所(B型・生活介護)では、食事時のコロナ対策によって、思いがけない効果がありました。食事場所を従来の食堂から作業室に変え、ついたてを設置するとともに、配膳ワゴンやテーブルクロスの使用など衛生面の向上に取り組みました。その結果、ほぼ毎日発生していた利用者同士のトラブルが解消され、利用者が自分の安定した居場所を確保し、落ち着いて食事を摂ることにつながりました。それに伴い、利用者同士のトラブル対応に忙殺されていた支援員が、交代で昼食休憩をとれるようになりました。

SELP Vision 2030 事例紹介

2022.10.25掲載

● (福) 福岡コロニーの変えてみた!!

福岡コロニー(B型・生活介護等)では、外部研修に参加できなくなったことから、法人内の人材を講師として、新しい法人内研修の形を考案しました。看護師や介護福祉士などの専門職の知見のほか、安全衛生委員会や部署ごとの専門性を活かした研修会を実施しました。職員が法人全体の動きや他職種の職務についてあらためて理解を深めることができました。



● (福) タラプの変えてみた!!

タラプ(B型等)では、コロナ禍の状況も含めた地域の課題に対して、障害者が「支える」側になることをめざして、法人の中期計画を見直しました。中期計画のテーマを『「地域コミュニティ」を丁寧に問い直し、共生型のまちづくりに向けて踏み出す』として、地域の居場所づくりに取り組んでいます。その1つとして、地域の空き家を活用したシェアハウスを障害者に提供するとともに、運営管理業務を就労継続支援の生産活動とすることで、障害者が仲間の地域生活を支える形を実現しました。また、令和5年度にはまちづくりの貢献に向けて、地域のイベントに活用できるガーデンの整備に取り組む予定です。

分科会Ⅱ②

「人生100年時代の健康づくり～地域住民も利用者も職員も楽しく元気に～」

登壇者

(福) 佛子園 GOTCHA! WELLNESS 代表 野竹 厚 氏

(福) 矢吹厚生事業所 わーくる矢吹 職業指導員・管理栄養士 松村 優佳 氏

「健康づくり」をキーワードに、施設・事業所内の利用者や職員だけでなく、地域に貢献している取り組みを2名の登壇者からご報告いただきました。人生100年時代と言われ、多くの人が健康に生活することを求める現代において、就労支援施設・事業所が地域住民に対してできることを考える機会となりました。

● (福) 佛子園 GOTCHA! WELLNESSの取り組み

GOTCHA! WELLNESSでは「運動」に着目し、地域住民に向けたスポーツクラブを運営しています。一般のスポーツクラブと異なり、0歳以上の子どもから大人まで、また、介助が必要な高齢者や障害者であってもプログラムに参加することができることが特長です。身体面の健康だけでなく、運動を通して人と人のつながりを生み出し、楽しく生活することにもつながっています。



● (福) 矢吹厚生事業所 わーくる矢吹 宅配弁当和来の取り組み

わーくる矢吹では「栄養」に着目し、高齢者への配食サービスを実施しています。管理栄養士の考案した栄養バランスの取れたメニューを高齢者に提供するとともに、社会福祉協議会と連携し、配食時の安否確認・見守りも行っています。障害者にとっても、地域貢献につながるやりがいのある仕事となっています。そのほか、学生向けの弁当販売やイベントへの配達など、広く地域に関わりながら仕事をしています。